

# eco 通信

NO.60  
2021 夏号

鶴岡市環境課・廃棄物対策課

## ごみの減量に取り組みましょう

鶴岡市では例年、1人1日あたりの家庭系ごみの排出量が全国平均・県平均を上回っています。

そのため、令和2年度に改定した一般廃棄物処理基本計画(※)で、家庭系ごみの排出量を1人1日あたり約50g減らし、令和7年度に550gにする目標を設定しています。

ごみを減らすことで、二酸化炭素の削減など、環境への負荷を減らすことができます。日常生活の中で次のようなことを意識し、約50g(≒卵1個分)のごみの減量に取り組みましょう。

### Reduce・

### Reuse にご協力を

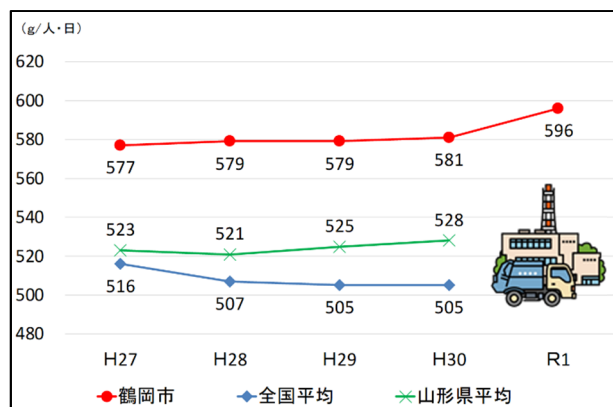
◆Reduce=ごみになるものを減らす

- お買い物にはマイバッグを持参し、計画的にお買い物しましょう。
- 箸やスプーン、カップ、ボトルなどは、使い捨てのものではなく、繰り返し使用できるものを活用しましょう。
- 洗剤やシャンプーは、詰め替えできる商品を選びましょう。
- お中元などの過剰な包装は断りましょう。
- 食材を無駄にせず使い切りましょう。
- 食べ物は残さず食べきりましょう。
- 生ごみは水切りして出しましょう。

◆Reuse=繰り返し使う

- ものを修理して、大切に使いましょう。
- 使わなくなったものは、リユースショップへ持ち込んだり、周りで必要としている人に譲りましょう。

※一般廃棄物処理基本計画について、詳しくは本市ホームページに掲載しております。



【1人1日あたりの家庭系ごみの排出量(資源ごみを除く)】

### 生ごみの水切りのポイント





生ごみの約80%は水分です。しっかり水切りすることで、ごみを減らすだけでなく、悪臭を減らすことにもつながります。

- ①濡らさない…野菜の皮は洗う前にむき、三角コーナーなど濡れやすい場所に置かない。
- ②乾かす…お茶がらやティーバッグは、水気をしぼり乾かす。
- ③しぼる…ごみに出す前にギュッとひとしぼり。水切りグッズも販売されています。

※そのほか、おすすめの水切り方法がございましたら、写真を添えて廃棄物対策課までお知らせください。効果的な方法については、ホームページなどで紹介させていただきます。

Mail:haikibutsu@city.tsuruoka.yamagata.jp

## 《ごみの分別でお問合せが多いもの》

品目	区分・処分方法
布団	直接クリーンセンター（宝田三丁目13-6）に持ち込むか、許可業者（ごみ収集カレンダーの左下に記載）に依頼してください。 <b>どちらも有料です。</b>
スプリング入りのマットレス、ソファベットの	スプリングが機械の故障の原因となるため、市では受け入れておりません。販売店や許可業者に依頼してください。
缶	 の缶はびん・缶（緑色袋）へ。  の缶は金属・その他（青色袋）へ。
カセットボンベ、スプレー缶、ライター	<b>中にガスが残っていると、ごみ収集車やごみ処理施設での火災の原因となります。</b> <b>必ず使い切り、穴を開けないで</b> 金属・その他（青色袋）へ。
モバイルバッテリー、加熱式電子タバコの電池	<b>過度な力が加わると火災の原因となります。</b> 他のものと分けて透明な袋に入れ、月に1度の蛍光管・乾電池等の日に出してください。
マスク、ティッシュ	新型コロナウイルス等感染症に感染した方などが使用したマスクやティッシュを捨てる場合は、ビニール袋に入れて密閉しやすごみ（茶色袋）へ。直接触れないようにし、ごみ袋の口が簡単に開かないようしっかりしばって封をしてください。

ご不明な点は廃棄物対策課まで TEL：22-2848／22-2849

【廃棄物対策課】

# アメリシロ対策には 薬剤を使わない **巣虫防除**をおすすめします

アメリカシロヒトリ（通称：アメリシロ）は大きさ約1cmのガの仲間です。毒はなく、触っても無害ですが、幼虫は樹木の葉を食べる性質があります。庭樹や街路樹に食害をもたらし、特にサクラ、クワ、プラタナスを好みます。木を枯らすほどではありませんが、気になる場合の防除のコツをお伝えします。

## 人と環境にやさしい すむしぼうじよ 巣虫防除のススメ

アメリシロの卵は葉裏に数百粒の固まりで産みつけられ、ふ化した幼虫は集まって糸を吐き、薄網状の巣を作ります。この巣は枝葉の一部が白くかすり状になるため目立ちます。放置すると幼虫が成長して木全体や周辺に分散し被害が広がってしまいますので、巣網に集まっている状態のうちに処置を行いましょ。

広がる前に一網打尽にするのが最も効果的で、薬剤も使いません。

6月	月上旬	産卵	↑	<b>巣虫防除期</b>	1 化期
	月中旬	産卵 巣に群生 幼虫 分散する			
7月	月下旬	幼虫	↓	<b>巣虫防除期</b>	2 化期
	月上旬	蛹化			
	月中旬	羽化			
8月	下旬	産卵	↑	<b>巣虫防除期</b>	1 化期
	月中旬	産卵 巣に群生 幼虫 分散する			
9月	下旬	幼虫	↓	<b>巣虫防除期</b>	2 化期
	月上旬	幼虫 分散する 蛹化(越冬)			

**1** 6月上旬～中旬、7月下旬～8月中旬に庭木の様子を見回り、巣網がついていないかこまめに確認しましょう。



**2** 巣網を見つけたら、剪定ばさみなどで巣網ごと枝を切り落としましょう。高くて手が届かないときは、高枝切りばさみを使いましょう。

高枝切りばさみは相談室でも貸し出します。

**3** 切り落とした巣網を放置すると、そこから幼虫が広がってしまいます。アスファルトにこすり付けるように踏み潰すか、幼虫がはい出ないように燃やすごみ袋に入れて口をきっちり閉め、燃やすごみとして出してください。



## アメリカシロヒトリ防除相談室を開設します

町内会単位で薬剤散布を希望する場合の機器等の貸し出し、その他アメリシロに関する質問等について受付する「アメリカシロヒトリ防除相談室」を開設します。

期 間：令和3年6月3日（木）～9月17日（金） 9：30～15：30

場 所：羽黒町赤川字村下63-2（旧赤川地区浄化センター） ☎62-5262

【環境課】